

苫小牧工業高等専門学校		開講年度	令和03年度(2021年度)	授業科目	フロンティア研究					
科目基礎情報										
科目番号	0005	科目区分	専門 / 必修							
授業形態	実験・実習	単位の種別と単位数	履修単位: 4							
開設学科	創造工学科(情報科学・工学系フロンティアコース)	対象学年	5							
開設期	通年	週時間数	4							
教科書/教材	教科書:指導教員から指示を受けること / 参考図書:指導教員から指示を受けること									
担当教員	須田 孝徳									
到達目標										
MCCにおける IV-A 工学実験技術 VII 汎用的技能(コミュニケーションスキル、合意形成、情報収集・活用・発信力、課題発見、論理的思考力) VIII 態度・志向性(主体性、自己管理力、責任感、チームワーク力、リーダーシップ、倫理観(独創性の尊重、公共心)、未来志向性・キャリアデザイン) IX創成能力										
ループリック										
IV-A 工学実験技術		理想的な到達レベルの目安(優)	標準的な到達レベルの目安(良)	未到達レベルの目安(不可)						
VII 汎用的技能(コミュニケーションスキル、合意形成、情報収集・活用・発信力、課題発見、論理的思考力)		安全に配慮して装置や機材を正しく操作し、得られた結果を目的に応じた形式にまとめ、資料を示しつつ論理的に分析・考察し、期限内に提出できる。	安全に配慮して装置や機材を正しく操作し、得られた結果を目的に応じた形式にまとめ、資料を示しつつ分析・考察し、期限内に提出できる。	左記項目に関することができない。						
VIII 態度・志向性(主体性、自己管理力、責任感、チームワーク力、リーダーシップ、倫理観(独創性の尊重、公共心)、未来志向性・キャリアデザイン)		ゼミ・グループディスカッションに向けて、様々な媒体により収集した資料を適切に取捨選択でき、得られた成果と問題点を他者に論理的かつ客観的に明瞭に説明する資料を作成できる。	ゼミ・グループディスカッションに向けて、様々な媒体により収集した資料を取捨選択でき、得られた成果と問題点を他者に論理的かつ客観的に明瞭に説明する資料を作成できる。	左記項目に関することができない。						
IX創成能力		得られた成果が社会・企業にどのように活用しうるかを把握でき、現状での新たな課題を見出せる。新たな課題を克服するために、自身に必要な能力(ありたい姿)を掲げ、その実現に向けた計画を立てることができる。	得られた成果が社会・企業にどのように活用しうるかを把握でき、現状での新たな課題を見出せる。新たな課題を克服するために、自身に必要な能力(ありたい姿)を掲げ、その実現に向けた計画を立てることができる。	左記項目に関することができない。						
学科の到達目標項目との関係										
I 人間性										
II 実践性										
III 國際性										
教育方法等										
概要		各テーマごとに、系が異なる複数の教員や他大学、土業、企業、自治体等の協力者が指導担当する。研究内容は、専門分野横断的、もしくは経営的な内容を含む。実際の現場に行き、課題となる事象を確認することもある。								
授業の進め方・方法		分野横断的、経営的な内容を含むような研究を5名程度のグループで以下のように実施する。 (1). テーマに応じた計画を立案し、ルールを遵守しつつ実験、シミュレーションまたはフィールドワーク等により遂行する。 (2). 適宜行われるゼミ・グループディスカッションに向けて、様々な媒体により収集した資料を適切に取捨選択し、得られた成果と問題点を他者に論理的かつ客観的に説明できる自身の資料を作成する。 (3). 得られた成果が社会・企業にどのように活用しうるかを把握し、現状での新たな課題を見出す。 (4). 新たな課題を克服するために、自身に必要な能力(ありたい姿)を掲げ、その実現に向けた計画を立て、再び(1).に戻る。								
注意点		外部の機関にヒアリングや調査等に行くことが多々ある。トラブル等があったら、担当教員に速やかに報告すること。								
授業の属性・履修上の区分										
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング	<input type="checkbox"/> ICT 利用	<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業							
授業計画										
	週	授業内容	週ごとの到達目標							
前期	1stQ	1週	フロンティアコース主任と研究テーマ担当教員からのガイダンス							
		2週	研究計画の策定							
		3週	文献調査、ゼミ、実験							
		4週	文献調査、ゼミ、実験							

	3週	文献調査、ゼミ、実験	これまで学んできた数学や自然科学、工学、経営学を実践に移す能力と必要な知識を適用する能力を示すことができる。文献など適切な情報収集をすることができる。実験計画を立て、実験装置や測定装置を準備して実験を遂行することができる。収集したデータについて評価することができる。
	4週	文献調査、ゼミ、実験	これまで学んできた数学や自然科学、工学、経営学を実践に移す能力と必要な知識を適用する能力を示すことができる。文献など適切な情報収集をすることができる。実験計画を立て、実験装置や測定装置を準備して実験を遂行することができる。収集したデータについて評価することができる。
	5週	文献調査、ゼミ、実験	これまで学んできた数学や自然科学、工学、経営学を実践に移す能力と必要な知識を適用する能力を示すことができる。文献など適切な情報収集をすることができる。実験計画を立て、実験装置や測定装置を準備して実験を遂行することができる。収集したデータについて評価することができる。
	6週	文献調査、ゼミ、実験	これまで学んできた数学や自然科学、工学、経営学を実践に移す能力と必要な知識を適用する能力を示すことができる。文献など適切な情報収集をすることができる。実験計画を立て、実験装置や測定装置を準備して実験を遂行することができる。収集したデータについて評価することができる。
	7週	文献調査、ゼミ、実験	これまで学んできた数学や自然科学、工学、経営学を実践に移す能力と必要な知識を適用する能力を示すことができる。文献など適切な情報収集をすることができる。実験計画を立て、実験装置や測定装置を準備して実験を遂行することができる。収集したデータについて評価することができる。
	8週	文献調査、ゼミ、実験	これまで学んできた数学や自然科学、工学、経営学を実践に移す能力と必要な知識を適用する能力を示すことができる。文献など適切な情報収集をすることができる。実験計画を立て、実験装置や測定装置を準備して実験を遂行することができる。収集したデータについて評価することができる。
4thQ	9週	文献調査、ゼミ、実験	これまで学んできた数学や自然科学、工学、経営学を実践に移す能力と必要な知識を適用する能力を示すことができる。文献など適切な情報収集をすることができる。実験計画を立て、実験装置や測定装置を準備して実験を遂行することができる。収集したデータについて評価することができる。
	10週	文献調査、ゼミ、実験 論文作成	これまで学んできた数学や自然科学および工学を実践に移す能力と必要な知識を適用する能力を示すことができる。文献など適切な情報収集をすることができる。実験計画を立て、実験装置や測定装置を準備して実験を遂行することができる。収集したデータについて評価することができる。研究課程および結果を論文にまとめることができる。
	11週	文献調査、ゼミ、実験 論文作成	これまで学んできた数学や自然科学および工学を実践に移す能力と必要な知識を適用する能力を示すことができる。文献など適切な情報収集をすることができる。実験計画を立て、実験装置や測定装置を準備して実験を遂行することができる。収集したデータについて評価することができる。研究課程および結果を論文にまとめることができる。
	12週	論文作成	研究課程および結果を論文にまとめることができる。
	13週	論文作成	研究課程および結果を論文にまとめることができる。
	14週	卒業研究発表会予稿作成 卒業研究論文提出	研究課程および結果を論文にまとめることができる。
	15週	卒業研究発表会	研究内容をまとめてプレゼンテーションし、質疑に対して適切に回答することができる。
	16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		発表	卒業論文	合計	
総合評価割合		30	70	100	
基礎的能力		5	20	25	
専門的能力		5	20	25	
分野横断的能力		20	30	50	